

手書き文字デジタル化

オーリッドに1億円

ジンド
レファン
チャラ
九州

西日本シティ銀行や九電工などが出資し、投資会社のドーガン・インベストメンツ(福岡市、森大介社長)が運営する「チャレンジ九州・中小企業がんばれファンド」は8日、手書きの文字をデジタル化するサービスを手掛けるオーリッド(大分県別府市、三浦雅弘社長)に1億円投資したと発表しました。オーリッドは調達資金を個人向けサービスの拡充に充てる。

オーリッドは保険会社や金融機関など向けに、診断書や申込書など手書

き文書のデジタル化業務を手掛けている。このほど個人向けサービスの開始。ノートなどの文字をデジタルカメラで撮影して送信すれば、

最速10分で電子化する。調達資金で「iPad」向けサービスやサーバーの容量拡大に取り組み。同社の2009年12月期の売上高は37億円。同ファンドは地域企業への支援による地域経済活性化を目指しており、独自のビジネスモデルで全国に顧客があり、今後の成長が期待できる「(ドーガン・インベストメンツ)としている。

手書き文字デジタル化 個人向けに 新サービス

別府のベンチャー

手書きの文字をデジタル化するサービスを法人向けに提供している情報技術(IH)ベンチャー、オーリッド(大分県別府市)が、個人や小規模事業者向けの新サービスを始めた。

同社は、大手金融機関や保険会社の手書きの各種書類をデジタル化する業務を請け負っている。スキャナーなどで読み取った書類の画像データを

同社のサーバーに送信すると、専用ソフトで文字がデジタル化され、さらに氏名や住所などカテゴリごとに分割される。分割されたデータは、

中国や大分市のデータセンターに送信され、専門スタッフが正しく変換されているかチェックする仕組み。個人情報保護のためデータを分割するこ

とが特長で、時間短縮や低価格にもつながっているという。最速で10分程度でテキストデータに変換できる。

個人向けでは、iPhone(アイフォン)専用ソフトもあり、アイ

フォンで写真を撮り、それを送信することでデ

ジタル化できる。また、専用のペンとノートを使

えば、書いた文字が自動的にテキスト化される。

料金はデータ件数や納期によって違い、月額無

料3万円。オーリッドは2001年設立で、09

年12月期の売上高は約37

億円。同社097(548)5688。